

科目名称: 幼児と健康					
担当者名: 任田 和子					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	1年後期	講義	必修	2	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24107210
授業概要: 乳幼児の健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。また、基本的な生活習慣は、食生活を中心に展開する。					
到達目標: 幼児期の健康課題と健康の発達の意味について学び、乳幼児の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。また、幼児の安全教育、安全管理、危機管理への意識づけを行うことに加え、運動発達の特徴と意義を理解する。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 健康の定義と乳幼児期の健康の意義			自分の周囲の乳幼児を見て健康に関する乳幼児期の現代的課題について下調べをする(60分)		
第2回 乳幼児を取り巻く生活環境と健康			テキストの幼児教育の目的と保育者の役割とを読み、環境に関しての下調べ(30分)		
第3回 乳幼児期の身体発達の特徴			幼児期の成長、発達について事後、各期の特徴をレポートにまとめる。(60分)		
第4回 生活リズムと心身の発達			基本的発達習慣としてのプロセスについて。(30分) 事前配布資料を参照。(30分)		
第5回 幼児期における食育の重要性			食育基本法により第4次推進基本計画の下調べ(30分)		
第6回 子どもの発育・発達と食生活			事前に参考資料「楽しく食べる子どもに」保育所における食育に関する指針(概要)を配布(30分)		
第7回 離乳食から学ぶ栄養指導と健康管理			事前に参考資料「授乳と離乳の支援ガイド」を配布。離乳のすすめ方について下調べ。(60分)		
第8回 幼児の安全管理と危機管理			事前に参考資料「子どもを事故から守る事故防止ハンドブック」を配布。(60分)		
第9回 幼児期の怪我の特徴と応急処置			テキストP123からを参照し、応急時の対応について下調べ(60分)		
第10回 幼児期の病気の予防			よくある幼児期の疾病及び体調不良の子どもについての対応を下調べ(60分)		
第11回 乳幼児期の運動発達の特徴			P60からを読み、運動の発達と個人差について考える(30分)		
第12回 幼児期における多様な動き			P139からを読み、自然現象、環境の中で遊びから動きを育てるケースを考える。(30分)		
第13回 運動遊び			プレゼンテーション発表準備(60分)		
第14回 幼児の身体活動体験を豊かにするための工夫と配慮			プレゼンテーションの評価と反省(60分)		
第15回 まとめ			各テーマの総合的視点と自己評価。		
履修に必要な予備知識や技能: 事前配布資料の読み取りと自己学習。自己の食生活を振り返り、「食育」から健康を考える。対象にあった子どもの食事にも関心を持つ。					
課題に対してのフィードバック: 授業の振り返りよりグループでディスカッション後、まとめ回収。次回授業で疑問点を検討する。保育者が出来得る援助について自己評価した後、助言を行う。					
評価方法・基準: 定期試験 60%、プレゼンテーション発表 20%、受講態度(授業への参加度) 20%					
教科書: 教科書: 保育内容 健康(光生館) 参考書: 「幼稚園教育要領」文部科学省、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館)					
備考:					
実務経験の内容・期間: 管理栄養士 (35年)					